

東京都循環器病対策推進計画改定 に向けた考え方

1. 第2期東京都循環器病対策推進計画改定に向けた考え方（案）

現行計画の大枠を維持し、現在の状況を踏まえた必要な修正を行う

- (1) 国指針の新たな指標を踏まえた都の指標の設定
- (2) 東京都保健医療計画をはじめとする諸計画との連携を図る
- (3) 医療提供体制の整備と患者支援という視点から、**感染症拡大時の状況を踏まえ**、今後の方向性を検討

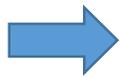
【主な課題】

- ・急性期搬送・受入体制の強化
- ・循環器病に関する医療連携、医療・介護連携・多職種連携の構築
（・デジタル技術の活用）
- ・相談支援・情報提供（正しい知識の普及啓発を含む）の充実

2. 第2期東京都循環器病対策推進計画の課題整理について

令和4年第2回循環器病対策推進協議会（令和5年3月27日）
資料3 一部抜粋

第1期東京都循環器病対策推進計画は、東京都保健医療計画におけるグランドデザインに沿って課題を整理しているが、第2期計画については、国の基本計画に沿った形での課題整理とする



- ・ 予防から急性期、回復期、維持期という流れとすることで、都民に対しわかりやすい計画の構成とする。
- ・ 国の計画に準ずることにより、全国標準の形となり、他県との比較など、評価が容易となる。

東京都循環器病対策推進計画の課題整理イメージ

第1期東京都循環器病対策推進計画（令和3年7月）

保健医療計画におけるグランドデザインに沿って課題を整理

第2期東京都循環器病対策推進計画（案）

国の基本計画の項目整理を参考として課題整理

（第1期との対応）

I 高度医療・先進的な医療提供体制の将来にわたる進展
①高度医療施設を中心とした医療提供体制の充実
②医療連携の推進
③救急搬送体制の整備
II 東京の特性を生かした切れ目のない医療連携システムの構築
①患者・家族の支援と医療連携の推進
②リハビリテーション体制の充実
③緩和ケアの推進
④小児期・若年期から配慮が必要な患者に対する医療の提供
III 地域包括ケアシステムにおける治し、支える医療の充実
①循環器病の予防・健診の普及、知識の普及啓発
②医療・介護連携の推進
③在宅におけるリハビリテーションの取組
④在宅における緩和ケアの取組
⑤治療と仕事の両立支援・就労支援
⑥相談支援の充実
IV 安心して暮らせる東京を築く人材の確保・育成
①高度・先進的医療を担う人材の確保・育成
②在宅療養を支える人材の確保・育成
③相談支援を担う人材の確保・育成

① 循環器病の予防・健診の普及、知識の普及啓発	Ⅲ-①
② 救急搬送体制の整備	I-①、I-③
③ 循環器病に係る医療提供体制の構築	I-①、I-③、 II-①、Ⅲ-②、IV-①
④ リハビリテーション体制の充実	II-②、Ⅲ-③、IV-②
⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援	Ⅲ-①、Ⅲ-⑤、Ⅲ-⑥、IV-①、IV-③
⑥ 循環器病の緩和ケア	II-③、Ⅲ-①、Ⅲ-④、IV-①、IV-②
⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援	Ⅲ-②、IV-①、IV-②
⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援	Ⅲ-⑤
⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策	II-④、IV-②
⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援	Ⅲ-⑤、Ⅲ-⑥、IV-③

前回の協議会及び事前の意見聴取でいただいた主なご意見

(全般)

- **循環器病に関する感染症蔓延時の状況**についてデータを用いて検討が必要
- **働き方改革**の影響を踏まえた体制の検討が必要
- 全国共通の**ロジックモデル**を活用し、全国と指標を比較することで、都の強みと弱みが明確になる。
- 毎年進捗管理を行い、各取組の実績を可視化し、PDCAサイクルを回すことが必要
- 循環器病対策として施策を講じるためには、医療保険データだけでなく介護データとの連携が必要となる。
- 計画を作ることを目的となっているので、具体的な施策の展開の検討が必要

(①循環器病の予防・健診の普及、知識の普及啓発)

- **バイスタンダーによる心肺蘇生率の向上**が、患者の生存率・社会復帰率の向上につながるため、更なる普及啓発が必要（患者の生存率・社会復帰率など各データについて現状に記載）
- **たばこの害（特に受動喫煙）**について記載が必要
- 既存の国民健康保険データの活用などにより被保険者の罹患状況などの周知が必要

(② 救急搬送体制の整備)

- 脳卒中について、**日本脳卒中学会の認定基準**と都の急性期医療機関の認定基準の整合を図るべき
- **脳血管内治療の円滑実施**に向けた取組の推進
- **感染症蔓延時に循環器病の救急医療が逼迫**し、救急隊の搬送先選定が困難になったことから、救急搬送体制の確保等について、より具体的な記載が必要
- **重症心不全患者**への対応を含む心不全対策の充実
- 救急医療全体のネットワークについて、**ICT技術等**を用いてさらに充実
- 重症な患者への迅速な救急活動を行うため東京都MC協議会において救急隊出動に関する出動トリアージ基準について検討

(③循環器病に係る医療提供体制の構築)

- 厚生労働省が実施する**脳卒中・心臓病等総合支援センター**に関する記載も必要
- **心不全対策**について、心不全患者は急性期病院から自宅退院という流れがほとんどという状況を踏まえ、1次診療の充実、増悪して急性期治療で入院した後の通院強化、在宅治療の強化が必要
- 人材育成を進め、医療体制の充実を図ることが必要

(④リハビリテーション体制の充実)

- **脳卒中地域連携パス**の現状の把握
- 維持期におけるリハビリの継続が課題。デイケアでのリハビリなど、**介護保険との連携**を図ることも有効
- **地域におけるリハビリテーションの実態把握**や課題抽出が必要。
- 循環器病に関する通院のリハビリテーションを提供している施設数が少ない。また、心大血管疾患の入院リハビリテーションを実施している医療機関の情報が少ない。

(⑥循環器病の緩和ケア)

- **緩和ケアの普及啓発**が必要
- 苦痛がある人の全人的なケアを地域の医療の中で行うことが必要
- 末期がんや難病患者に限定されている緩和ケア施設が多い

(⑦社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援)

- 心不全対策において、**医療と介護をうまくミックス**させて高齢者の心不全に当たっていくかという視点が非常に重要。
- 心不全の高齢者は**他疾患で認知症など併発**している方が多い。疾患だけでなく、人全体を見ていくことが必要

(⑧治療と仕事の両立支援・就労支援)

- 急性期から回復期、維持期に至るまで一貫して**両立支援コーディネーター**が関わる必要がある
- 関係機関と調整し効果的な支援体制構築に努めていただきたい

(⑨小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策)

- 年齢に応じた医療連携の充実が必要

(⑩循環器病に関する適切な情報提供・相談支援)

- 厚生労働省が実施する脳卒中・心臓病等総合支援センターに関する記載も必要
- 相談支援を担う人材の育成が必要
- 脳卒中学会が認定する**プライマリーストロークセンターコア施設**には脳卒中相談窓口があるため、都も活用すべき

東京都循環器病対策推進計画改定に向けた考え方（更新版）

現行計画の大枠を維持し、現在の状況を踏まえた必要な修正を行う

- (1) 国指針の新たな指標を踏まえた都の指標の設定（ロジックモデルの活用）
- (2) 東京都保健医療計画をはじめとする諸計画との連携を図る
- (3) 医療提供体制の整備と患者支援という視点から、感染症拡大時の状況を踏まえ、今後の方向性を検討

【主な課題（重点的に追記予定の項目）】

⇒循環器病対策推進協議会・部会で検討した内容等を踏まえ、記載していく

- ・急性期搬送・受入体制の強化

（脳卒中急性期搬送・受入体制の強化（脳血管内治療の円滑実施含む））

- ・循環器病に関する医療連携、医療・介護連携・多職種連携の構築

（心不全の地域連携体制の構築）

- ・相談支援・情報提供（正しい知識の普及啓発を含む）の充実

- ・感染症拡大時の状況を踏まえた医療体制の整備

- ・デジタル技術の活用

- ・働き方改革への対応

⇒ その他のいただいたご意見については、現行の記載や関係する協議会等の意見を基に、記載内容を検討していく

計画の改定に係る今後の予定について

会議名（開催時期目安）	主な検討事項
第1回循環器病対策推進協議会（本日）	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期東京都循環器病対策推進計画改定に向けた考え方（更新） ・感染症蔓延時の状況を踏まえた医療体制の検討
第2回循環器病対策推進協議会（8月）	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革の影響を踏まえた検討 ・ロジックモデル（指標の設定）の検討
相談支援の状況確認（8月）	<ul style="list-style-type: none"> ・プライマリーストロークセンターコア施設（脳卒中学会が認定する相談窓口を有する医療機関）に対する相談窓口に関する状況確認
第1回相談支援・情報提供検討部会（9月～10月）	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中・心臓病等総合支援センターの取組や都内医療機関の相談窓口の状況を踏まえ東京都における相談支援について検討
第1回医療連携推進部会（9月～10月）	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中急性期医療体制状況調査を踏まえた検討 ・心不全対策について検討
第3回循環器病対策推進協議会（11月）	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期循環器病対策推進計画（素案）の検討
パブリックコメント	
第4回循環器病対策推進協議会（2月）	<ul style="list-style-type: none"> ・計画（案）の検討